上板町教育大綱

令和6年3月

上板町

I 教育大綱策定の背景と趣旨

教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るため、平成27年4月1日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行されました。その中で、地方公共団体の長（首長）と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するために、すべての地方公共団体に首長と教育委員会を構成員とする「総合教育会議」を設置することが規定されました。

この会議において、首長と教育委員会との連携を強化し、首長が教育行政に連帯して責任を構築するため、上板町の教育、学術、文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることが求められています。

上板町では、「第3次上板町総合計画（後期計画）」が令和4年3月に策定され、町長と教育委員会が諸課題の協議を重ね、「第3次上板町総合計画（後期計画）」に沿った新たな方針を定めた「上板町教育大綱」第3期を策定したところです。

II 教育大綱の位置づけ

「上板町教育大綱」は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づくものです。

上板町のまちづくりの指針である「上板町総合計画（後期計画）」に則し上板町の教育、学術及び文化の振興に関する目標や施策の根本と方針を定めています。

平成29年度からは、新しく「上板町総合計画」が策定され、それにより上板町教育は推められました。現在の後期基本計画の根本となる部分を継承しながら、現状に則した修正を行い、策定された教育大綱の理念・目標が達成できるよう、令和4年度の第3次上板町総合計画（後期計画）で重点施策を検討考慮したものです。

また、学校・家庭・地域・関連団体等と相互に連携しながら、「上板町教育大綱」第3期でも子どもの育成、青少年の健全育成並びに生涯教育を推進してまいります。

教育大綱は、上記事項を考慮しながら上板町の大きな基本目標、方針を示したものです。

III 大綱の期間

大綱の期間は、2024年度～2027年度までの4年間とします。

ただし、期間中においても社会情勢等に応じて、見直しを行います。

IV 大綱の基本理念

「上板町を担う人財が育つまちづくり」の実現

V 基本目標

上板町では少子高齢化等による人口減をマイナス要因と捉えず、上板町の生き残り・発展戦略を考えます。その基本目標を『教育再生』による人材育成（ひとづくり）と考え、教育を重視した施策を推進します。また、歴史・伝統文化の継承・育成支援を行います。

すべての町民が郷土に誇りを持ち、あらゆる分野で活躍できるよう、生涯を通じて学び、個性や能力を伸ばすことが出来る「町を担う人財のまちづくり」をめざします。

- 1 幼児を中心に据えた質の高い幼児教育・保育を展開し、家庭教育を充実させる。
- 2 「生きる力」の育成を重視した教育内容の充実と、基礎学力の定着をはじめ、すべての教育活動にICT環境を取り入れた教育内容を充実させ、子どもたちが夢を描き、夢の実現に向けて、心の絆づくりを大切にする学校教育を実現する。
- 3 学校・家庭・地域や関係機関の連携を強化しながら、青少年の健全育成を推進するとともに、多様な学びの機会を提供するため、各種講座の実施や生涯学習情報の発信に努める。
- 4 児童・生徒の人権意識の育成に務め、全町民を対象とした人権教育・啓発を充実させる。
- 5 歴史・伝統文化の継承と活性化を行うとともに、スポーツ活動の振興を図る。

VI 主要施策

1 幼児教育・家庭教育の充実

- 1) 施設・設備の改修等を計画的に進めるとともに、子どもの状況に応じた職員と補助員の十分な配置に努めます。
- 2) 幼稚園同士、保育所、小学校の連携強化を図り、幼稚園の統合について検討していきます。
- 3) 幼児教育の専門性を活かして子育て家庭を支援するとともに、地域全体で家庭教育を支える体制づくりを検討します。
- 4) 子ども家庭総合支援センター（仮称）との連携により、相談体制や相談事業の充実を図ります。
- 5) 子育て親子を地域で応援するため、PTA活動や親子会活動、ボランティア活動の活性化を促します。
- 6) 児童虐待の未然防止と早期対応、事故や犯罪に巻き込まれない対策、子どもの人権尊重に向けた啓発等に取り組みます。
- 7) 幼児教育や子ども・子育て関連の法制度の改正等に対応し、時代のニーズに即した幼児教育を推進します。

2 学校教育の充実

- 1) 施設・設備の改修やバリアフリー化等を計画的に進めるとともに、ICT環境の充実など、教育内容の充実に即した設備や教材・教具の整備を行います。

- 2) 少人数教育の特徴を最大限に活かし、基礎学力の定着に向けた取組、特別支援教育の充実を図るとともに、今後の社会情勢を見据えた、国際理解教育やICT教育の充実、そのための教員の能力向上の支援を推進していきます。
- 3) 自他の人権を大切にする心や郷土を愛する心、道徳的な判断力・態度の育成に向けた教育に取り組みます。
- 4) 発達障がい、いじめ、不登校等児童・生徒や家庭の様々な課題に迅速かつ適切に対応するため、教職員の指導力の向上、特別支援教育支援員や子どもの自立支援相談員の活用等を図ります。学校に登校できない児童・生徒について、適応指導教室「あいつ子学級」と連携して、社会的自立や学校復帰に向けての支援を行います。
- 5) 学校と地域・保護者が一体となって学校運営に取り組み、「地域とともにある学校づくり」を進めるため、町民への周知や人財の育成・確保に努めながら、コミュニティ・スクールの取組を充実させていきます。
- 6) 学校給食センターにより、栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食を提供します。

3 青少年健全育成・生涯学習の充実

- 1) 子ども家庭総合支援センター（仮称）と青少年育成室、青少年育成上板町民会議を核として、学校・家庭・地域や関係機関の連携を強化しながら、青少年の健全育成を推進します。
- 2) 日頃のあいさつや声かけ運動の継続に努め、世代や地域を越えた多様な交流を促進します。
- 3) 多様な学びの機会を提供するため、学習プログラム（教室・講座）の実施や生涯学習情報の発信に努めます。
- 4) 学校図書館や公民館図書室の充実を図るとともに、板野町文化の館図書館や県立図書館との連携等によって、身近に図書のある環境を創出するとともに、多様なニーズに対応していきます。
- 5) 学習成果を地域社会に活かせる環境づくりに向けて、生涯学習と学校教育を連動させた人材の確保・活用を図ります。

4 人権教育・啓発の充実

- 1) 人権意識の高揚と差別の根絶に向けて、これまでの同和教育や人権教育の中で積み上げられてきた成果や反省を踏まえ、あらゆる人権問題の早期解決に取り組みます。
- 2) 子どもに対する虐待、体罰、いじめ等の防止と早期解決に向け、関係機関と連携するとともに、あらゆる機会を活用して、学習・指導や子どもの人権尊重に向けた啓発等に取り組みます。
- 3) インターネットを介した人権侵害・差別の防止に向け、学校教育の充実等を図り、情報の収集・発信を促進します。
- 4) 高齢者・障がい者に対する虐待の防止と早期解決に向けて、関係機関との連携のもと、支援体制の強化を図ります。
- 5) 男女共同参画社会の実現に向け、町民への男女平等意識の啓発を促進させます。

5 文化・スポーツの振興

- 1) 国選定保存技術に選定されている阿波藍製造の保存・継承のため、阿波藍製造技術保存会を中心に後継者の育成を進めます。
- 2) 文化活動の活性化に向けて、関連施設における拠点機能の強化と文化財の保存・活用、文化協会の活動の支援に取り組みます。
- 3) スポーツ活動の強化に向けて、多様なニーズに柔軟に対応する「上板ふれあいクラブ」の自主運営化を進めます。
- 4) 小・中学校の施設開放の継続、ファミリースポーツ公園の施設改修や持続的な運営体制の構築等に計画的に取り組みます。
- 5) 文化活動の指導者やスポーツ推進委員の育成と活用を図ります。